

天風思想とわが人生



世界連邦石川県連理事

池田 行雄

軍事探偵から聖地修行へ

天風先生は明治9年(1876)、九州柳川元藩主の一族、中村三郎として東京で誕生。日清、日露戦争には軍事探偵として従軍。戦後、肺結核を発症。苦渋の解決を求めて単身出国し米欧を巡ったが効果なく絶望。フランスから

日本に帰国の途次、エジプトのカイロでヨガの聖者と奇遇、ヒマラヤ山脈カンチェンジュンガ山麓にあるヨガの聖地に同行。そこで苦行約3年、悟りの境地を開眼。肺疾患治療し日本に帰国。自らの体験を、人に伝えようと一念発起、独自の伝授法を創案。大正8年(1919)から東京日比谷公園を皮切りに辻説法を開始、以来50年間、関東、関西

をはじめ全国各地で講演を続け、昭和43年(1968)92歳で逝去された。

ヨガの秘法クンバハカなど

昭和35年(1960)、私が35歳のとき、初めて天風先生の公開講座を受講した。東京都文京区の護国寺の月光殿で、聴衆は300人程だった。当時私は警察大学生で、放課後の外出で聴講ができた。先生は羽織、袴の颯爽(さつそう)たる姿、威厳ある風貌で、時にはべらんめい口調をまじえ笑いを誘う講演。教えは「明るい心身の作り方」の具体的実践法の伝授。

- ①人間の生きる意義の自覚(宇宙の進化向上に寄与する使命)。
- ②大いなる命の恵みの自覚



写真 富岡省三写真展「願みる景」から(さる6月下旬・しいのき迎賓館で)その②

俳句 初夏の朝

徳村 二郎

(内灘町・無所属)

サンセットブリッジ渡る初夏の朝
椎の木の木々の若葉迎賓館
アカシアの花の社に投句箱
噴水を前に安らぐ鼓門
珍しく妻が奨めるビールかな
学校のフェンスに沿うて小判草
今生の別れの会に鰻食ふ

- (明るく心に大きな活力が注ぎ込まれる)。
 - ③潜在意識の明朗化法(朝、夜の信念強化の自己暗示)。
 - ④言葉の大事(弱音、不平は心を弱くする)。
 - ⑤ヨガの秘法「クンバハカ」(肛門締め・肩下げ・下肚充実)。
 - ⑥安定打座法(瞑想、「空」の声を聞く)。
- 等が公開講座、修練会で順次教えられた。

ご縁随順、明るく元気で

その後の私は警察庁(東京)を経て56歳まで石川県警察に在籍、その間公安反対闘争警備現場責任や七尾火電建設反対闘争警備責任等を担当。その後金沢医科大学、金沢東別院式務部、石川県宗教連盟事務局長などにご縁を頂いた。39歳の秋、東京オリンピック「近代5種競技」の役員、69歳の夏、アメリカ・ボルチモア市で開催された太極拳世界大会の開会演武に出演の奇縁にも恵まれた。現在は週2回の太極拳クラブ、月2回の福祉センター講師を続け25年目になる。本年87歳、まさしく老年を迎えた。様々なご縁を頂き、感謝で一杯。92歳まで元気で活躍された天風先生の教えを支えにご縁随順、皆様と共に「明るく元気で」と念じている。(金沢市)

事務局日誌(2013)

- 2・1 「世界連邦石川」第48号発行
- 2・14 石川県連事務局会議(香林坊アトリオ)
- 2・20 第41回全国小学生ボスター・作文コンクール全国表彰(東京)◇ボスターの部特賞 岩田夏歩(金沢市泉野小5年)
- 4・19 世界連邦運動協会執行理事會に平口理事長出席(東京)
- 5・17 石川県連事務局会議(石川県教育會館)
- 5・24 世界連邦運動協会理事會に平口理事長出席(東京)
- 5・25 世界連邦運動協会全国總會に桑原豊理事出席(東京)JICA地球ひろば)
- 6・15 平成25年度石川県連理事會・總會(香林坊アトリオ)

編集後記

体の健康と頭の活発な動きは不離不測であることを痛感させられる年齢に至りました。この会報を担当してからもう10年になりました。後継の若手に譲りたい願望が募っていますので、よろしくお願ひいたします。今号は池田行雄さん、村田秀彦さん、徳村二郎さん、富岡省三さんらの献身的なご好意をいただき発行ができました。感謝申し上げます。次号は石川県内の世界連邦推進小中学生ボスター・作文コンクールの入賞作品が掲載できる筈です。ご期待を。(S)